

## 意見集

### 視点：暮らし

#### 政策：住む

##### 施策1 良好な都市環境を整備します。

近年、人口が緩やかに減少している状況にあり、新たな開発等が行われにくくなるなど、都市を取り巻く環境は変化している。このような中、都市計画法や開発行為等指導要綱による過度な規制は、人口の流入を妨げる可能性もあることから、良好な都市の保全・形成を進めるとともに、今後のめざすべき都市像や開発規制のあり方を検討すべきである。

##### 施策2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます。

老朽化した道路や橋りょうの更新時期に入り、計画的で効率的な改修が課題となっている。川西市道路橋長寿命化修繕計画に基づき、予防保全に努められているところであるが、一般の道路や水路も含めて、維持管理費の平準化や低減に取り組む努力が求められる。

##### 施策3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします

交通事故原因を再確認し、引き続き、交通安全施設の維持修繕や自転車通行空間の適切な活用を行うとともに、啓発による交通安全意識や交通モラルの向上に努め、交通事故の減少に向けた取組みが求められる。

##### 施策4 公園を利用しやすくします

川西市公園施設長寿命化計画に基づく遊具の撤去・更新については、少子高齢化や価値観の多様化により、地域ごとのニーズは異なることから、利用度の高い魅力ある公園にするため、広場や緑地として活用するなど、共有空間としての機能の向上に努めるべきである。

##### 施策5 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます

近年の「ゲリラ豪雨」の発生による浸水被害への不安が高まっている中、地域ごとの排水計画や排水能力を確認し、治水機能の強化に向けた十分な対策を講じる必要がある。

##### 施策6 市街地の整備を進めます

市街地整備は、単にハード整備を行うのではなく、商業や観光の視点などのソフト面を併

せた総合的な検討を行う必要がある。

### **施策7 キセラ川西のまちづくりを進めます**

地区の中心にあるキセラ川西せせらぎ公園は、フリーマーケットやコンサートなど、様々な使い方ができるよう魅力の向上に努める必要がある。

また、全体的なまちづくりに向けて、キセラ川西を積極的にPRし、今後も施策を展開することが求められる。

### **施策8 総合的な交通環境の向上を図ります**

公共交通の維持保全・利便性の向上を図るため、生活の足として基幹となる公共交通機関の状況を把握した上で、モビリティマネジメント教育をさらに進めることにより、公共交通に対する市民の関心を高め、公共交通機関のさらなる利用促進を行うべきである。

### **施策9 公営住宅を適正・効率的に管理します**

公営住宅の老朽化や入居者の高齢化が進んでおり、居住性や安全性、防災性の低下が懸念される。今後は、大規模修繕を実施するとともに、既に「廃止」と位置付けられ、政策空き家が生じている公営住宅については、積極的に集約化を図るなど、効率的に公営住宅を管理する必要がある。

### **施策10 ふるさと団地の再生を推進します**

北部地域は、中心市街地と比べて公共施設や生活利便施設が少ないため、地域の個性を活かしながら、住居以外での活用を目的とした空き家対策についても検討し、転入促進や流出抑制のためのさらなる施策展開を図り、特に、生産年齢人口の流入に軸足を置いて実施することが求められる。

## **政策：にぎわう**

### **施策11 商工業を振興します**

インターネットを活用する企業の状況や事業形態の多様化を把握し、企業振興や事業活動の支援に努める必要がある。

## **施策 12 中心市街地の活性化を推進します**

中心市街地周辺には、様々な商業施設が存在することから、新たなにぎわいを創出するため、官民連携を推進し、中心市街地の活性化を図るべきである。

## **施策 13 農業を振興します**

農業従事者の高齢化に伴い、担い手不足が問題となっている。担い手不足の解消のために地域特性や農地の現状を把握したうえで、生産者と消費者の距離を近づける支援を検討し、生産者の仕事への誇りや後継者育成に繋がる施策を展開する必要がある。

## **施策 14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります**

女性、高齢者、障がい者が働ける職場を増加させる支援に努めるべきである。

## **施策 15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます**

川西市は観光資源として歴史、文化が充実していることから、市内外への効果的なプロモーションを行い、市の魅力を発信する必要がある。

## **施策 16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます。**

文化施設や社会体育施設の利用者増加をめざすだけでなく、地域での文化・スポーツ活動を充実させることで、市民がスポーツするきっかけをつくれるよう努めるべきである。

## **視点：安全安心**

### **政策：安らぐ**

## **施策 17 生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します**

健康でいきいきと暮らせるように、幅広い年齢層に対して、特定健診の受診や運動習慣の啓発をおこない、市民の健康づくりを推進する必要がある。

また、無関心層の多い世代に対しては、特に、健康意識の醸成を図る必要がある。

## **施策 18 安心して医療が受けられる環境の整備に努めます**

市民が安心できる医療体制を充実させるためには、医療機関の機能分化を進めるとともに、市民に対してかかりつけ医の利用を促進していく必要がある。

#### **施策 19 市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します**

将来にわたり、市民に安全な医療を提供するため、今後の市民病院については、市民満足度が高い医療サービスを提供できるよう努める必要がある。

#### **施策 20 地域福祉活動の支援と促進を図ります**

地域の福祉ニーズに対応するために、地域におけるボランティア活動や居場所づくりの充実を図り、地域間の格差がないように、地域に根差した福祉活動を促進させる必要がある。

#### **施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します**

高齢化社会の到来により、要介護状態の高齢者は増加していくと予想されることから、介護予防をさらに推進する必要がある。

また、外出ができない高齢者への支援を拡充し、認知症予防のために生活の中で地域の人と関わることができる場所を整備しながら、認知症サポーターの活動内容を充実させる必要がある。

#### **施策 22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します**

高齢者の増加に伴い、生きがいが多様化している状況の中、地域で健やかに自立した生活を送るためには、地域との関わり合いを深めていくことが重要であり、高齢者自らが積極的に社会貢献できるような環境づくりを進めていく必要がある。

#### **施策 23 障がい者の自立した生活と社会参加を促進します**

障がい者を地域で支える意識の醸成を図り、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援する必要がある。

また、障がい者の生活状況を踏まえたうえで、ニーズに合った福祉サービスを提供するとともに、就労に向けた支援を展開することが重要である。

#### **施策 24 生活保護受給者と生活困窮者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自**

## **立を支援します**

生活保護受給者の就労意欲につながる支援を積極的に行うことが重要である。

また、生活困窮者の自立に向けては、個々の状況に応じた支援が必要であることから、相談体制を充実させ、特に、親の貧困が子供に引き継がれることがないように支援していくことが重要である。

## **政策：備える**

### **施策 25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します**

若者世代の減少や仕事の都合上、活動時間に制約あることが理由で、消防団員が減少しているため、消防団の入団条件の見直しと消防団活動への支援を行う必要がある。

また、地域防災力の向上に向けて、防災訓練等の啓発や、自主防災組織の支援に努めることが求められる。

### **施策 26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します**

防災行政無線をはじめ、情報伝達手段の整備に努めているところではあるが、災害発生時の情報共有について、自治会員に対しては、情報共有を徹底できるが、市民全体への情報伝達が不十分などところがある。その現状を踏まえて、情報伝達手段の確保に努めるとともに、関係機関や地域の自主防災組織との連携強化の推進を図るべきである。

### **施策 27 生活安全の向上を図ります**

各小学校区の通学路等に防犯カメラを設置するなど、地域の積極的な防犯活動、見守り活動により市内における犯罪件数は減少傾向にあるが、さらに市民一人ひとりの防犯意識を高めるための取組みを推進する必要がある。

## **政策：守る**

### **施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します**

緑が豊かなまちだと思える市民の割合は非常に高く、川西市の豊かな自然を守るため、樹木医の活用、ボランティアグループの支援や環境教育の推進など、自然環境の保全に向けて、若いうちから意識啓発を行い、次世代へ継承できる仕組みづくりに努めるべきである。

### **施策 29 快適な生活環境を守ります**

新名神高速道路の開通を含めた市内の生活環境の変化については、環境変化の有無を確認するだけにとどまらず、問題が発生した場合には、改善、解決ができる対応を行うことが重要である。

### **施策 30 循環型社会の形成を促進します**

ごみの収集について、地域においては、自治会ごとに様々な工夫をしながら高齢者への対応を行っているが、ごみ収集に関するニーズを把握した上で、個別収集を見直すなど、地域と協力しながら市民サービス向上の推進を図ることが求められる。

## **視点：生きがい**

### **政策：育つ**

### **施策 31 こどもの健やかな育ちを実現します**

こどもの健やかな育ちの実現は、保育所などの施設に通う子どもたちだけではなく、全ての子どもたちに保障しなければならないため、子育て支援事業のニーズを把握し、必要な環境整備に努めるべきである。

また、留守家庭児童育成クラブについては、待機児童が発生しないように整備を進め、特に低学年については、優先的に受け入れることができる体制づくりを進める必要がある。

### **施策 32 明るく楽しい子育てを支援します**

子育て支援拠点については、さらに身近な地域への整備を進め、総合的な子育て相談体制の確立が求められる。

また、子育て相談の件数、内容などを的確に把握し、関係機関との連携を強化し、各家庭に適したきめ細やかなサービスの充実に努めるべきである。

### **施策 33 すべての子ども・若者の逞（たくま）しい成長を社会全体で支援します**

子ども・若者の支援について、ニート・ひきこもり・不登校など様々な課題がある中、このような若者の相談件数、相談内容を把握し、相談体制の強化や必要な居場所づくりなど社会参加を促すための施策展開に努める必要がある。

また、地域活動などへ参加し、充実感を持って生きる若者を増やすには、子どもの頃から

社会性を育む必要があるため、家庭や学校、NPO や地域と連携し、子ども・若者を育成する活動の推進を図ることが求められる。

## **政策：学ぶ**

### **施策 34 児童・生徒の学力を向上させます**

点数化される学力の向上と併せて、自ら課題を発見し、解決していく生きる力を身につける必要があるため、それぞれの具体的な施策を検討する必要がある。

### **施策 35 心豊かな児童・生徒を育みます**

放課後子ども教室の充実を図るなど、地域全体で子どもたちの成長を支える活動を推進しながら、子どもの活動拠点や居場所の確保に努めるべきである。

### **施策 36 誰もが等しく学べるよう支援します**

経済的な理由による小・中学校での学力格差に対する支援など、子どもの貧困対策を適切に実施することが求められる。

### **施策 37 児童・生徒の健康を守ります**

食育の推進にあたり、健康関連の部署と連携して進めていくことが重要である。

### **施策 38 計画的・効果的に教育環境を整備します**

誰にもやさしい教育環境の構築をめざし、学校施設のバリアフリー化について検討すべきである。

また、災害時の安全確保に向けて、避難経路についても十分に配慮すべきである。

### **施策 39 市民の学びを通して地域社会を支えます**

民間活動による学びの機会が広がっている中、行政による生涯学習の機会提供を再考するとともに、学習ニーズを的確に把握したうえで講座等のあり方について検討する必要がある。

### **施策 40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します**

地元コミュニティとの連携を図りながら、観光の視点も踏まえつつ、情報発信や活動の場の拡充を行うことで、文化財ボランティアや文化財講座への参加者の増加につなげることが重要である。

## 視点：つながり

### 政策：尊ぶ

#### 施策 41 お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます

市民一人ひとりが人権意識の重要性を認識するため、継続的に人権啓発・教育の展開を図る必要がある。

#### 施策 42 性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします

男女共同参画の啓発を推進するため、市民へのPRを積極的に行うべきである。

### 政策：関わる

#### 施策 43 市民の声を聴き、情報の共有化に努めます

広報誌やホームページ、SNS等を活用した情報発信、適正な運用と対応の充実を図り、多くの市民に市全体に関わる情報を伝えられるよう、情報発信に努めることが重要である。

#### 施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します

自治会をはじめ、NPO、ボランティアなどで自立的活動を促すために、各団体間のネットワークの共有化を図り、より相乗効果が発揮できるような仕組み作りを図る必要がある。

## 視点：行政経営改革大綱

### 政策：挑む

#### 施策 45 参画と協働のまちづくりを推進します

参画と協働の取り組みをおこなったことがある市民の割合は、依然として低い水準に留まっており、自主的なまちづくり活動への参画と協働を促進するために、まちづくりの主役である市民への意識の向上を図り、参画と協働のまちづくりをさらに推進する体制を構築する必要がある。



**施策 46 革新し続ける行政経営をめざします**

社会情勢に対応し、計画的に行政経営を行う必要がある。

**施策 47 持続可能な財政基盤を確立します**

税収等が減少していく中、必要なサービスを見極め、支出を抑制するとともに、新たな歳入を確保する方策を検討する必要がある。

**施策 48 職員の意欲と能力を高めます**

職員の意識・意欲の醸成を図り、行政サービスの向上に努めることが重要である。

**施策 49 長期的展望に立ち、公共施設を整備・保全します**

公共施設の整備・保全に対する方向性を明確にし、効果的・効率的に進める必要がある。